

食のイノベーション推進事業の取組状況について

1 要旨・目的

農水産事業者の「稼ぐ力」を高めることを目的に、令和4年度から実施している「食のイノベーション推進事業」について、この度、令和7年度分の採択として新たに3プロジェクトを決定するとともに、プロジェクトの実施計画を説明する発表会を開催したので取組状況を報告する。

2 現状・背景

県では、新たなビジネスの創発を希望する意欲的な経営体の経営発展を促すため、多様な業種の企業と経営体が連携し、専門家のアドバイスを受けながら、新商品やサービスの提供など、新たな「食」のビジネスを創発する取組を進めるプログラム「Hiroshima FOOD BATON（ひろしまフードバトン）」を実施している。

3 概要

(1) 実施内容（5月以降の取組）

ア プロジェクトの募集

5月16日にイノベーション・ハブ・ひろしま Camps にて、5月20日には東広島イノベーションラボミライノ+にて、本事業の内容や個別相談会等について説明する募集セミナーを開催するとともに、7月中旬まで個別相談会を実施し、応募から審査までのフォローアップを行った。

イ 1次審査

農業経営体や販売・サービス業など幅広い分野の11事業者から12件のプロジェクトの応募があり、適合性、革新性、将来性及び貢献性を評価項目として、7月24日から28日にかけて1次審査を行い、6件のプロジェクトを決定した。

ウ 2次（最終）審査

1次審査を通過した6件のプロジェクトについて、実行計画の具体化及び精緻化に向けた伴走支援を行った後、1次審査項目に妥当性及び実現性の項目を加え9月2日に2次審査を行い、3件のプロジェクトを採択した。

なお、審査は、1次、2次ともに、食の専門家（県立広島大学教授）、合同会社MHDF（委託事業者）、県職員が行った。

(2) 令和7年度採択プロジェクトの概要

ア プロジェクト名： 田万里家 RICE DONUT プロジェクト

(ア) 起案代表者：農ライファーズ株式会社（竹原市）【サービス業】

(イ) プロジェクト概要

- ・ 竹原市の田万里町で生まれたブランド「田万里家 RICE DONUT」を核に、広島県の農・食・観光資源を活かした地域発スイーツブランドを構築することで、持続可能な農村経済の活性化と集落の田んぼの再生を目指す。
- ・ 自ら米粉を生産しながら、県内の農水産事業者と連携したコラボ商品の開発、観光地出店・ECなど複線的な販路整備を進め、国内外の健康志向層や訪日旅行客に向けた情報発信・商品展開を推進する。



イ プロジェクト名： SETOUCHI HERB TEA

(ア) 起案代表者：みなと組（尾道市）【農業経営体】

(イ) プロジェクト概要

- ・ 県産ハーブティーを広島県の新たな特産品としてブランド化、産地形成していくことで持続可能な農業の実現、地域経済の発展を目指す。
- ・ 県産ハーブティーを手に取りやすい個包装パッケージに加工し、ホテルのアメニティや広島土産として展開していくことで、契約農家へ新たな利益をもたらす事業モデルを確立する。



ウ プロジェクト名： わらしべ農家プロジェクト

(ア) 起案代表者：けわりも農店（東広島市）【農業資材卸売業】

(イ) プロジェクト概要

- ・ 工場等で発生する未利用資源を農業資材に再利用することで、生産現場の資材コスト低減・規格外農産物の販売による生産者所得の最大化を目指す。
- ・ 食品工場で発生する汚泥をたい肥に、壁紙メーカーの余剰壁紙を防草マルチへ転用するなど、各業界の「未利用資源」を農業生産に活用することに加え、規格外農産物を県内の飲食店や食品加工会社へ供給する仕組みを構築する。



(3) 採択プロジェクト発表会・交流会について

採択者の挑戦する過程の取材や更なるビジネスアイデアの創発を目的に、発表会・交流会を開催した。

ア 日 時：令和7年10月9日（木）13：00 から 15：00

イ 場 所：紙屋町スウィング（広島市中区基町地下街 100）

ウ 内 容：令和7年度採択プロジェクトの事業計画の発表

令和6年度及び令和5年度採択プロジェクトの経過報告

メディアや関係者、採択事業者との交流会



(4) 予算（単県）

46,500 千円

(5) 今後の対応

採択事業者に対して、新たなビジネスが実現できるよう現地実証を支援する。